

第7回 習う漢字が増えました

1026字。小学校6年間で学習する漢字の合計です。20字増えました。

学年別では、1年から順に、80、160、200、202、193、191字となっています。

漢字の習得といっても、書けること、読めること、文や文章の中で使うことなど、さまざまなレベルがあります。何度も書いたり読んだり、文に使ったりして習得していきます。

今回改訂の特徴は、増やした漢字がすべて都道府県名に用いる漢字だということです。それもすべて第4学年に追加してあります。「茨 媛 岡 潟 岐 熊 香 佐 埼 崎 滋 鹿 縄 井 沖 栃 奈 梨 阪 阜」。

4年生が全体として増えた分、他学年に移動して減らしています。他学年でも増減のある学年があります。

ちなみに、「石川県」の石は1年、川は2年、県は3年で習います。

「七尾市」の七は1年、尾は中学校で、市は2年で学習します。「尾」が書けないからと言って叱らないでください。

小学校で習う漢字一覧については、文科省のページをご覧ください。

[学年別漢字配当表（画像ファイル）](#) [（PDF:690KB）](#) 

子ども達は、前の学年までに習ったことになっている漢字を読めるでしょうか。間違っておぼえてしまっていないでしょうか。

同じ漢字でも、読み方が何通りもある漢字もあります。小学校で習う漢字のなかで、読み方の一番多い漢字は1年生で習う「生」です。12通りあります。（送り仮名が異なる場合を1通りと数える）

使用例：1年生、人の一生、誕生、100歳まで生きる、金魚を水そうに生かす、花を生ける、
犬が生まれる、たまごを生む、王子様、草が生える、生糸、生卵

楽しみながら、いろいろな方法で学習してみるとよいでしょう。